

熊本市人材育成センター職員研修企画提案仕様書

研修名	令和8年度（2026年度）新規採用職員研修（仕事の基本・フォロー研修） ① 令和8年度（2026年度）新規採用職員研修（仕事の基本） ② 令和8年度（2026年度）新規採用職員研修（フォロー研修）
対象職員	① 令和8年（2026年）4月1日付採用の事務職員・技術職員・医療従事者 等 ② 令和8年（2026年）4月1日付採用の事務職員・技術職員・医療従事者 等 令和7年度（2025年度）年度途中採用の事務職員・技術職員・医療従事者 等
受講者数	①②ともに 320 名程度（7 班に分け、1 回約 45 人、1 日 1 会場で研修実施）
開催場所	熊本市が指示する場所
実施予定時期	① 令和8年（2026年）4月3日（金）～4月13日（月） ※土日祝を除く ※旅費積算は7泊8日とし、講師の移動回数を2回としている。 ② 令和8年（2026年）10月13日（火）～10月30日（金）のうち連続する7日間 ※土日祝を除く ※旅費積算は7泊8日とし、講師の移動回数を2回としている。
実施日程	① 1日間コース×7回 8時50分～17時00分 ② 1日間コース×7回 9時00分～17時00分
特約	・天災地変等の自然的な事象、新興感染症、その他不可抗力による事由により、仕様の変更が生じる場合は、別途協議を行う。 ・講師が研修に使用するパソコンは、受託者が用意し、持参する。

研修内容	研修の目的 ねらい	① 新規採用職員が、「熊本市職員成長・育成方針※別添参照」に定められた熊本市職員のめざす職員像や組織像を認識する。特に、熊本市職員が備えるべき4つの行動姿勢ごとに伸ばしたい能力の基礎を習得することを目指す。 また、行政のプロとしての職業人及び組織の一員としての自覚を持ち、入庁初期の段階で必要と考えられる仕事の進め方の基本的な知識及び技能（報連相など）の習得を図る。 ② 対象職員が半年間を振り返り、自分が目指す（望む）将来像の実現に向け、課題を整理し更なるステップアップを図る。また、これからの時代に求められる公務員マインドを再確認するとともに組織貢献の意識を高める。 ①②共通 グループワークを多く取り入れ、新規採用職員同士のつながりを深め、相互理解を推進することも目的とする。
------	--------------	---

	研修に導入を希望するテーマ等	① 今後、若年労働力の不足や経営資源の制約が見込まれる中で、新たな社会課題や行政需要に対応するためのマインドセットを植え付ける。 (以下、熊本市職員が備えるべき4つの行動姿勢を踏まえて構成をお願いしたい。※段階的に②フォロー研修と連動した内容でも可。) ・市民志向/市民視点に立って、ともに考え課題解決に向けて行動する力を学ぶ。 ・自立志向/常に新しい視点と広い視野を持って主体的に行動する力を学ぶ。 ・チーム志向/対話を通じて目標を共有することやチームワークを大切に、個々の特性を活かす力を学ぶ。 ・改革志向/前例にとらわれずに、常に新しい視点を持ち行動する力について学ぶ。 (初めての社会人となる職員向けに以下の内容を含めて構成をいただきたい。) ・仕事の進め方/基本的知識や効果的・効率的に仕事を進める技術を学ぶ ※接遇研修は別途研修を行うため、これを除外した上でカリキュラムを構成すること。 ※対象は社会人経験のある職員も含まれるが、「公務組織」の特性を踏まえた働き方について学ぶ機会であることを留意されたい。 ② 半年間の振り返りの際に、新規採用職員が前期研修にて考える、「目指す職員像」と「実現するための行動目標」及び新規採用職員が毎月提出(採用後6ヶ月間)する「職場指導の経過報告」(別添)の活用をお願いしたい。 ※その他は、自由提案とする。
--	-----------------------	--

希望講師数	① 1人 ② 1人
提案上限額	2,655千円